

令和3年度事業計画書

〔 令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで 〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

本年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりと講じたうえで、以下のとおり各公益事業活動に積極的に取り組んでまいります。

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

(1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しています。

ア 特別展の開催

(ア) 「日比谷線開通60周年展」～相互直通運転の礎～（仮称）

6月上旬～9月上旬

日比谷線は1961（昭和36）年3月に、営団地下鉄3番目の路線として、最初の区間である南千住～仲御徒町間が開業してから本年度で60周年を迎えました。

戦後の高度経済成長期、急務とされていた郊外から都心への輸送力を上げるための新路線として建設が開始され、1964（昭和39）年の東京オリンピック開催前までの全線開業に向け、急ピッチで工事が進められました。

また、同時に、営団地下鉄で初めての相互直通運転やステンレスカーである3000系も登場しました。

この特別展では、日比谷線が開通60周年を迎えるにあたり、その歴史などについて写真やパネル等で紹介します。

(イ)「写真で見る東京の地下鉄展」～地下鉄と変わりゆく景色～（仮称）

12月初旬～翌年3月中旬

1927（昭和2）年に日本初の地下鉄が上野～浅草間に開業して以来、東京の地下鉄網は徐々に拡大していき、現在では東京地下鉄9路線及び都営地下鉄4路線が網の目のように東京の地下に張り巡らされるまでに発展し、今や日々の生活に欠かすことのできない重要な公共交通機関となっています。

最初の開業以来90年以上の歴史がある東京の地下鉄には、その時代ごとの街の様子とともに数多くの記録写真が存在し、それらを見ることによって地下鉄の発展の歴史を街の移り変わりとともに感じることができます。

この特別展では、当館が所蔵する東京の地下鉄沿線の記録写真を中心に、当時の街の様子を交えながら、その発展の歴史を写真やパネル等で紹介します。

イ イベントの実施

入館されたお客様に楽しんでいただけるよう、各期間において以下のイベントを行います。

- (ア) 春休み、ゴールデン・ウィーク行事（各種ゲームなど）
- (イ) 夏休み行事（各種ゲーム、キャラクター撮影会など）
- (ウ) 鉄道の日行事（1001号車車内公開、特別映画上映会など）
- (エ) 冬休み行事（キャラクター撮影会など）

ウ 教育実習活動

博物館実習（学芸員資格取得のための実習）、グループ見学（中学校からの要請による学習）等の教育実習活動を受け入れます。

(2) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めます。

さらに、データベース化した貴重な資料を基にホームページに公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充に向け内容の更新等に努めるとともに、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸し出しも行います。

(3) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度実施する主な工事は、以下のとおりです。

ア 千代田線シミュレータ動揺装置制御機器更新

- イ データ保存用サーバの移設
- ウ メトロパノラマ用HOゲージ模型の製作
- エ 展示物「トンネルを掘る技術」のパソコン更新
- オ 展示物「地下鉄の安全を支える」のパソコン更新

(4) 新規商品の開発と販売

入館されたお客様から要望が多い博物館オリジナル商品の開発を積極的に行い、お客様に喜んでいただくことで来館記念となるよう努めます。

本年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策の告知に努めつつ、お客様に安心してご来館いただけるよう、ホームページ・Twitter等の電子媒体やポスターなどを活用して、博物館のPR活動を行っていきます。

2 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、以下の事業を実施します。

(1) メトロコンサートの開催

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、代替施策を実施)

音楽文化の普及を図るため毎年度開催している「メトロコンサート」の代替施策として、無観客状況下における演奏を収録した動画のオンライン上での配信を年1回実施します。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックスコンサート」を年1回開催します。

(3) 音楽の贈りものコンサートの開催

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、代替施策を実施)

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため毎年度開催している「音楽の贈りものコンサート(出張音楽会)」の代替施策として、高齢者福祉施設の就業者を対象とした演奏会を年2回、医療従事者を対象とした演奏会を年1回開催します。

また、同代替施策として、昨年度、無観客状況下における演奏を収録して作成したDVDを高齢者福祉施設に配付します。

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催します。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内に展示します。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部代替施策を実施）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などで撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年1回開催し、その撮影作品の中から優秀作品を選び、「メトロ文化展 写真の部」として駅構内に展示します。

また、代替施策として、一定のテーマを設定のうえ作品を募集し、応募された作品の中から優秀な作品を選び、当財団ホームページにおいて発表する「メトロ写真コンテスト」を年1回開催します。

ウ 文学の部（メトロ文学館・展示）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、優秀作品を選び、車両内ポスターに掲出します。

また、優秀作品及び入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として駅構内に展示するとともに、当財団のホームページにおいて発表します。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を、財団のホームページと「Echika 池袋ギャラリー」において年2回紹介します。

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人技の実演会を地下鉄博物館において年1回開催します。

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を年2回開催します。

また、同代替施策として昨年度、探訪予定地における名所旧跡の説明を収録して作成したDVDを希望者に抽選で配付します。

(7) Echika 池袋ギャラリーの運営

芸術文化の振興に寄与し、また、駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するために池袋駅に設置した「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。

展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行います。

現在「パブリックアート」は、副都心線西早稲田駅に2作品・北参道駅に1作品、有楽町線豊洲駅に1作品、銀座線上野駅・末広町駅・青山一丁目駅に各1作品、合計6駅7作品を設置しています。

また日比谷線銀座駅コンコースに設置した「メトロ銀座ギャラリー」の展示管理を行います。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、以下の事業を実施します。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内及び車両内に掲出します。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説

した小冊子「地下鉄のはなし」を制作し、主要駅及び地下鉄博物館において配布します。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催します。

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布します。

以 上